



5月臨時会・6月定例会合併号

6月定例会本会議 (なら100年会館中ホール)

議長に三浦教次氏を選出 副議長に八尾俊宏氏

本市議会は、令和2年5月臨時会を5月1日の1日間の会期で開きました。
この臨時会は、議場が耐震化工事中のため、なら100年会館中ホールで開かれ、市長から提出された2年度一般会計補正予算などの5議案を可決または承認しました。

また、2年6月定例会を6月8日から6月26日までの19日間の会期で開きました。

この定例会も、なら100年会館中ホールで開かれ、議長・副議長の選挙を行い、議長に三浦教次氏、副議長に八尾俊宏氏を選出しました。これに続き、常任委員会の委員の選任などを行いました。

市長が提出した32議案のうち、2年度一般会計補正予算など7議案を原案どおり可決し、財産の取得などの3議案と人事案件22件の合計25件に同意することに決定し、市長専決処分の報告など12件の報告を受けました。

また、議員から提案された、議会提出に係る資料の不適切な取扱いに関する問責決議案を否決し、議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正を可決しました。

目次

- ◆正副議長あいさつ…………… 2
- ◆新しい議会の構成…………… 2・3
- ◆そが知りたい
質疑・一般質問…………… 4~6
- ◆補正予算等特別委員会…………… 7
- ◆本庁舎のあり方
検討特別委員会…………… 7
- ◆議案等の議決結果と
その賛否…………… 8

就任のあいさつ



議長 三浦 教次



副議長 八尾 俊宏

市民の皆様には、平素より市議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、今まで経験したことのない新型コロナウイルスの感染拡大という危機的状況に際し、医療従事者をはじめ、最前線でご活躍いただいている皆様に厚くお礼申し上げます。

私どもは、このたびの六月定例会におきまして、議員各位のご推挙を受け、長き伝統と歴史ある奈良市議会の議長及び副議長に就任いたしました。誠に身の引き締まる思いであり、適切な議案審議はもとより、円滑な議会運営に努めてまいります。

先にも述べました新型コロナウイルス感染拡大は、今までの生活において経済、社会、医療等に深刻な影響をもたらしております。今後は新しい生活様式が推奨される中、市民の皆様が安全で安心して生活できるように、二元代表制の一翼を担う市議会といたしまして、さまざまな課題に的確に対応するとともに、柔軟かつ公明正大な議会運営を心がけていく所存でございます。

奈良市政の発展と市民福祉の向上のために、全議員が一丸となって誠心誠意取り組んで参りますので、今後とも、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

新 しい 議 会 の 構 成

(令和2年6月26日現在)

総務委員会



委員長

委員 長
司 晃 司
特別委員 長
市議会 推進 改革 議員 会
(自民党市議会・結の会)



副委員長

委員
治 幸 治
所 属
無 所
報 告
(無 所)



委員
司 裕 司
幹 事 長
市議会 議員 団
(日本共産党市議会)



委員
司 智 司
特別委員 長
市議会 推進 改革 議員 会
(自民党市議会・結の会)



委員
森 田 一 成
特別委員
市議会 推進 改革 議員 会
(自民党市議会・結の会)



委員
中 西 吉 日 出
所 属
無 所
報 告
(無 所)



委員 長
森 岡 弘 之
特別委員 長
市議会 議員 団
(公明党市議会)

観光文教委員会



委員長

委員 長
藤 田 幸 代
市議会 議員 団
(公明党市議会)



副委員長

委員
樋 口 清 二 郎
所 属
改 革 新 政 会



委員 長
道 端 孝 治
特別委員 長
市議会 議員 団
(自民党市議会・結の会)



委員
林 政 行
所 属
無 所



委員
阪 本 美 知 子
市議会 議員 団
(改 革 新 政 会)



委員
北 村 拓 哉
市議会 議員 団
(日本共産党市議会)



委員
東 久 保 耕 也
特別委員 長
市議会 議員 団
(自民党市議会・結の会)

厚生消防委員会



しなと こういち
階戸幸一
広報広聴委員
(改革新政会)



つかもと まさる
塚本勝
議会運営委員
議会改革推進特別委員
(自民党市議会・結の会)



やま でつじ
山出哲史
議会運営委員
(改革新政会)



しらかわけんたろう
白川健太郎
議会運営委員
議会改革推進特別委員
(日本共産党市議会議員団)

副委員長

委員長



きた よしあき
北良晃
議会運営委員
(自民党市議会・結の会)



さか い たかえ
酒井孝江
広報広聴委員
(無所属)



みつ はし かずし
三橋和史
(無所属)



みや いけ あきら
宮池明
議会運営委員
広報広聴委員
(公明党市議会議員団)

市民環境委員会



や おし ひろ
八尾俊宏
副議長
(自民党市議会・結の会)



やま もと なおこ
山本直子
(日本共産党市議会議員団)



そう だてつ ろう
早田哲朗
(公明党市議会議員団)



やま もと かず ひろ
山本憲宥
広報広聴委員
(自民党市議会・結の会)

副委員長

委員長



かぎ たみちこ
鍵田美智子
議会改革推進特別委員
(改革新政会)



みつ うら のり つぐ
三浦教次
議長
(自民党市議会・結の会)



く り ゆう じ
九里雄二
議会運営委員
議会改革推進特別委員
(公明党市議会議員団)

建設企業委員会



かき もと げん き
柿本元気
(改革新政会幹事長)



よこ い ゆう いち
横井雄一
議会運営副委員長
議会改革推進特別委員
(自民党市議会・結の会)



おお にし あつ ふみ
大西淳文
議会改革推進特別委員
(無所属)



いの うえ まさ ひろ
井上昌弘
議会運営委員
議会改革推進特別委員
(日本共産党市議会議員団)

副委員長

委員長



い どう つよし
伊藤剛
広報広聴委員長
(公明党市議会議員団)



つち だ とし お
土田敏朗
(自民党市議会・結の会幹事長)



まつ いし せい いち
松石聖一
(無所属)



たばた ひ さ え
田畑日佐恵
(公明党市議会議員団)

6月11日・12日・15日の本会議では、22人の議員(うち代表質問4人)が質疑・一般質問を行いました。
 以下は、質問と答弁の要旨です。(発言順)



代表質問

プレミアム商品券

高齢者も対象に

自民党 結の会 八尾 俊宏

問 プレミアム付き商品券発行の対象者は、なぜ子育て世帯だけなのか。

市長 新型コロナウイルス感染症拡大の中で全ての市民の自粛生活による生活費等の増については十分認識している。一方、子育て世帯は学校園の臨時休業等により出費が著しく増えることが容易に予測でき、家計へ与える影響が特に顕著になるものが子育て世帯と考えた。限られた財源の中で効果的に取り組むために子育て世帯を対象とした。



子育て世帯を対象に発行される商品券

**コロナ対策に伴う臨時休業
学びの保障のための体制を**

公明党 田畑日佐恵

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための小中学校の臨時休業に伴う学びの保障のため補習教員や学習指導員を導入する考えは。

教育長 学校再開後、感染症対策を講じつつ、子どもたちの学びを保障するための体制整備は重要と考える。そのため、個々の学習定着度に応じたきめ細かな指導や補習的な学習支援を行う体制づくりとして、学習指導員の導入も手立ての一つとして検討したい。

**子どもセンター建設事業
工事中断での無駄は**

改革新政会 柿本 元気

問 子どもセンター建設に係る事前調査について、工事を中断したことで余分な費用もかかっている。

正当性のないまま工事を止めて市民の血税を無駄にしているのでは。
市長 実際に数日工事が止まっている事にどれだけ費用が生じるのかも含めて、全体の工程とそして最終的に契約

の中で事業者と協議する必要があると考える。
 当然、税を無駄にしないというのは大前提なので念頭において協議したい。

**地方創生臨時交付金
先行した独自支援を**

日本共産党 山口 裕司

問 自粛や休業で窮地に追い込まれている事業者への支援が必要だが、国の支援策は不十分で時間もかかる。市の予算で追加的な支援策を先行して行う考えは。

市長 5月臨時会で協力金や児童扶養手当受給者への臨時特別給付金の提案をした。また、6月議会でも国の交付金を見越して約6億円の充当対象事業を提案している。今後必要とあれば交付金の申請スケジュールにしばらくは早い迅速な事業の展開を行いたい。

個人質問

**危険なごみの混在
分別強化の啓発を**

自民党 結の会 横井 雄一

問 ペットボトルとたばこの吸い殻の分別の不徹底により

目を失明する事故が起きている。今一度、啓発活動を強化するべきでは。

環境部長 ごみの分別については、しみんだよりやホームページ等、様々な方法で周知啓発している。

今回、ペットボトルの分別の不徹底による危険な事故も発生しており、その危険性をクローズアップした分別の必要性と分別方法の更なる周知徹底を強化したい。

**老朽化する道路インフラ
適切な予防保全を**

公明党 伊藤 剛

問 市の道路インフラは高度経済成長時代に急速に整備され、年々、老朽化が進んでいる。

予防保全の専門部署が必要と考えるが、令和2年度に設置された道路保全インフラ課の設置目的は。

建設部長 橋梁などのインフラの老朽化が進んでおり、事後保全から予防保全への方針転換に組織的に取り組む必要がある。

長寿命化の推進や維持管理の効率化を合理的に実施するため道路インフラ保全課を新設した。

**きたまちの整備
現在の進ちよは**
改革新政会 鍵田美智子

問 かねてから施設の改修工事が進められている旧少年刑務所の民間利用について、具体的な利用方法や主要な施設概要が明確になっていないが、現在の進ちよく状況は。

都市整備部長 旧奈良監獄保存事業については、国県市で締結した包括協定に基づき、相互に情報共有し、協議、実施してきた。

星野リゾートが同事業の特別目的会社の代表に就任して以降、着実に事業は進ちよくしており、令和2年度は事業の基本計画が提案される予定である。

**長期休業後の学校再開
教職員の負担軽減を**

日本共産党 北村 拓哉

問 長期の休校で不安とストレスをため込んだ子どもたちを全力で受けとめ、一人ひとりを丁寧に教える手厚い教育が必要だが、教職員の心身の負担もかつてないものがある。負担軽減のためのトイレ清掃の委託や消毒作業等に支援員を配置する考えは。

教育部長 学校再開後の環境づくりのために増加した教職員の業務をサポートするため、スクールサポートスタッフの追加配置を予定しており、感染症対策や児童生徒の健康観察等を行うことを考えている。

**市民への支援のための
今後の緊急経済対策は**
無所属 松下 幸治

問 コロナ禍によつて疲弊した市民等を支援するために、以前1000億円の融資枠と100億円の地域創生交付金、そして国に対して国民1人当たり100万円の融資と100万円のマイナンバーカード給付金措置を要望するよう求めたが、今後の対応は。

市長 現在2次補正等も含め、これからの奈良のあり方を見据えた様々な社会経済環境の変化に対応できる取り組みの準備を進めている。ゼロベイスの発想で対策を講じたい。

**新型コロナウィルス対策
今後の経済対策は**
自民党 結の会 山本 憲宥

問 市発注工事における、市内企業の優先的な発注や資材購入等は、市経済の活性化や

市内業者育成の観点からなされてはいるが、新型コロナウィルス対策における経済対策としての今後の対応策は。

総務部長 市内にも新型コロナウィルス感染症対策により、多くの業種・業界に経済的な影響が及んでいることは認識している。

このことを踏まえ、今回のコロナ禍における地域経済を立て直しと地元企業の育成を目的に市内業者優先発注に取り組んでいく。

**特別定額給付金
市民に広く周知を**
公明党 早田 哲朗

問 市の特別定額給付金の申請書作成が困難な一人暮らしの高齢者や障がい者、事情により現在も申請できていない方への周知は。

福祉部長 国の実施要領で申請期間は受付開始から3カ月以内とされているため、市では8月31日を申請期限としている。このため、7月号、8月号のしみんだよりでの記事掲載などを予定している。

また、申請書の作成が困難と考えられる方には、地域包括支援センターを始め多くの関係団体に支援をお願いした。

**緊急告知ラジオ
普及のための補助は**
改革新政会 樋口清二郎

問 市では、市民の緊急告知ラジオの購入に際し、8000円の半分である4000円を補助している。

他市では市より安く購入できたり、高齢者に無償で配付したりしている。

現状の補助の上乗せや高齢者へ無償配付する考えは。 **危機管理監** 他市の販売額については確認している。

緊急告知ラジオの普及促進策については他市等の状況を更に調査して検討を進めたいと考える。



災害発生時に役立つ緊急告知ラジオ

**県域水道一体化
減収減益になるのでは**
日本共産党 井上 昌弘

問 県下の水道事業を事業統

合して企業団とし、料金を統一する準備が進められている。試算では20億円の減収減益となり、検討会資料でも5年ごとに料金を段階的に引き上げるとあるが、一体化による減収減益は避けられないのでは。 **企業局長** 統合効果を除いた単純試算ではそのとおりだが、一体化で県の水道用水供給事業が廃止されると市町村の負担金も軽減され20億円程度減ることになり、ほとんど純利益は変わらない結果になる。

**コロナ差別等の誹謗中傷
市長の人権問題の見解は**
無所属 中西吉日出

問 新型コロナウィルス感染症の拡大に伴い、医療関係者やその家族がいわれもない誹謗中傷や差別を受ける等、大きな社会問題となっている。今回の差別事象も踏まえ、市長の人権問題に対する見解は。 **市長** 患者の個人情報を含めた中傷や差別事象等、看過できない人権問題と認識している。

今後もし引き続き人権課題に多くの市民が関心を持つよう啓発に力を注ぎ、住民と行政が一体となり人権問題を解決出来るよう取り組みたい。

準要保護世帯の給食費 4、5月分も給付を

公明党 森岡 弘之

問 準要保護世帯の給食費について、家庭での昼食費の負担軽減支援策として3月分の給食費の取り扱いと同様に4月、5月分の給食費相当分を給付するべきと考えるが、市の見解は。

教育部長 現時点で国のセーフティネットが十分に機能していない状況は否めないことから、令和2年度の就学援助制度利用世帯への4月、5月分の給食費相当分を昼食費として支給することについて、今後、具体的に検討したい。

夜間中学校の補食費 教育の一環として復活を

革新新政会 阪本美知子

問 市は平成26年度から夜間中学校の補食費の予算を廃止した。次の学びに繋がる教育の一環としての役割も果たす補食の意義をどう考えるのか。

教育部長 開校当時は空腹のまま授業を受ける生徒が多く、この解消のため補食を提供していたが、当時と状況が異なってきたため廃止した。補食は空腹を満たすだけでなく、

生徒同士の親睦を深めるものと認識しているが、廃止時期と状況が変わっておらず、補食の復活は難しいと考える。



様々な生徒が通う夜間学級
(春日中学校)

強引な審議会運営 市長は真摯に受け止めて

日本共産党 山本 直子

問 子どもセンター建設に関する候補地の都市計画変更手続きについて、これまでの市長の進め方は、審議会の意見を聞くのではなく、市長の強引なやり方に市が一体となり、審議を通すことに最善を尽くすというように見えるが、どう考えているのか。

市長 十分な説明、情報提供が事前に出ていかなかった点は反省している。

審議会での意見については、しっかりとそれを踏まえて今後の対応に反映していきたい。

ユニバーサルツーリズム 導入についての認識は

無所属 林 政行

問 全ての人が楽しめるように作られた旅行であるユニバーサルツーリズムは、観光業の回復に大きなポイントとなると考えるが、導入についての市の認識は。

観光経済部長 市ユニバーサルデザインマスタープランの中でユニバーサルツーリズムの推進を掲げており、ユニバーサルデザインに基づき全ての方が気楽に奈良を訪れ、奈良の魅力に触れて楽しめる環境を整える必要がある。

前例なき窓口閉鎖 措置の正当性は

革新新政会 山出 哲史

問 このたびのコロナ禍の中で4月22日から5月17日まで26日間、市役所の窓口が原則閉鎖された。4月21日に決定し、翌日から実施したため周知が十分でなく、市民に不安と混乱を与えた。これまでに前例のない今回の措置は、どのような法的根拠に基づき行ったのか。

市長 明確に定義された根拠はない。命に代えられるもの

はないことから、前例のないことであったが、最終的には私の判断で決定した。

学校のコロナ感染症対策 教室の換気扇の活用を

無所属 大西 淳文

問 教室の換気については、休憩時に2方向の窓を開けるとのことだが、国はエアコン使用時でも常時の換気を促している。児童、生徒の安全安心をより確保するため、換気扇を利用すべきと考えるが、相当古いものもあると聞く。

修繕も含めた活用の考えは。

市長 コロナ対策として、安心してお子さんを預けて頂く意味で重要なことと思う。

予算措置も含めてどこまでできるか、最大限考えたい。

木津川市との図書館連携 共同運営を目指しては

無所属 酒井 孝江

問 図書館運営で木津川市と、一冊ずつ負担金をもたらう形ではなく、共同運営出来るはず。街の文化的情報拠点や観光情報発信など、可能性が広がるのではないかと。

教育部長 木津川市と毎年覚書を締結して連携している。

木津川市の負担等もあり、北部図書館の増床リニューアルを行いサービス充実を図った。公共図書館の運営協力は様々で、他市の例も参考に、充実したサービスが提供出来る運営を進めたい。



木津川市と連携している
北部図書館

議会の指摘事項 その取り組みと把握体制は

無所属 三橋 和史

問 議会での指摘事項等で趣旨に沿う答弁をしたにもかかわらず、課題を適切に認識せず、その解決に向けて職務を遂行出来ない事例が散見される。全庁的な取り組み状況を把握し、必要な指示をする体制の構築をしているのか。

市長 個別施策で明確な進捗がよく確認出来ないものもあるが、各部署での更なる進捗よく管理とともに政策方針を調整する会議等で優先順位を付け、しっかりと管理出来る体制に改めたい。

補正予算等特別委員会

委員長 三浦 教次
副委員長 藤田 幸代
委員 山出 哲史

林 政行
阪本 美知子
山本 直子
山本 憲宥
太田 晃司
九里 雄二
松石 聖一

この定例会では、10人の委員で構成する補正予算等特別委員会を設置して令和2年度一般会計補正予算等を審査することとしました。



補正予算等特別委員会は、6月15日に正副委員長の互選、資料要求、17日・18日に質疑を行い、委員会に付託された議案9件を慎重に審査しました。採決の結果、いずれも可決、同意すべきものと決しました。

ここでは、質疑のあった項目のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

議案第60号

●リモートワーク等対応システム導入経緯

●プレミアム商品券発行事業の販売店舗の在り方

●観光客数の推移

●帰国者・接触者相談センター開設からの経緯

●リモートワークシステム運用の工夫

●障害者支援施設等へのマスク等の臨機応変な配付

●認可外保育施設の保育料還付に対する補てん

●観光事業者支援に対する配慮

●出先機関等のオンライン相談受付支援システム導入

●一条高校の修学旅行キャンセル料補償金

議案第65号

●親メーターで契約しているところの取り扱い

議案第66号

●市立奈良病院の地域医療支援病院指定による変更点

●地域医療支援病院指定によるデメリット

議案第68号

●北消防署に配備予定のはしご車の費用負担

本庁舎のあり方検討特別委員会

本庁舎のあり方検討特別委員会は、本庁舎の耐震化問題や本庁舎の在り方を調査、検討するため、令和元年6月定例会において設置しました。

委員会は、令和元年6月27日から令和2年6月19日まで10日間開催し、調査を終了しました。

以下は、6月19日の委員会の主な質疑項目です。

ここでは、質疑のあった項目のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

●工事の騒音の職務への影響

●庁舎南側広場整備の大宮通りプロジェクトとの連動

●執務室の環境測定

●労働安全衛生の観点からの議論と対応

●作業員のコロナウイルス感染防止対策

●全体工事の清算金額の見込み

●各棟の騒音・振動の今後の具体的な状況

●庁内各所の天井・配管等のアスベスト対策

議会の情報

7人に表彰状 《全国市議会議長会》

第96回全国市議会議長会定期総会において、次の7人が表彰を受けました。

議員40年以上特別表彰

松石 聖一 議員

議員20年以上特別表彰

土田 敏朗 議員

議員10年以上表彰

山本 直子 議員
階戸 幸一 議員
横井 雄一 議員
柿本 元氣 議員
酒井 孝江 議員



議案等の議決結果とその賛否（6月定例会）

○：賛成 ×：反対

件名	議決結果	会派名（一部略称）				無所属							
		自民党・結の会	公明党	革新政会	日本共産党	林政行	松下幸治	三橋和史	大西淳文	酒井孝江	松石聖一	中西吉日出	
5月臨時会													
◆議案													
予算	令和2年度一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
条例	特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	全会一致										
	国民健康保険条例の一部改正	可決	全会一致										
	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可決	全会一致										
その他	市長専決処分等の報告及び承認を求めること（介護保険条例の一部改正）	承認	全会一致										
6月定例会													
◆議案													
予算	令和2年度一般会計補正予算（第2号）	可決	全会一致										
	〃 土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	全会一致										
条例	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	可決	全会一致										
	手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	可決	全会一致										
	水道事業給水条例の一部改正	可決	全会一致										
	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×
	その他	財産の取得（2tプレスプレート式塵芥車）	同意	全会一致									
財産の取得（先端屈折式はしご付消防自動車（30m級））		同意	全会一致										
農業委員会の委員のうち少なくとも4分の1を認定農業者等又はこれらに準ずる者とする事		同意	全会一致										
人事案件	監査委員の選任（東口 喜代一氏）	同意	全会一致										
	監査委員の選任（山本 憲宥氏）	同意	全会一致										
	監査委員の選任（伊藤 剛氏）	同意	全会一致										
	農業委員会の委員の任命（窪田 弘氏、堂前 喜秀氏、西久保一則氏、萩原 健氏、西浦 博文氏、小松 紗智氏、川崎 待子氏、巽 一孝氏、中田 武文氏、羽坂 まさ子氏、山下 恵子氏、大木 博氏、大西 啓司氏、木村 守男氏、熊木 丈治氏、甲谷 浩一氏、中川 良一氏、中田 憲一氏、宮城 一郎氏）	同意	全会一致										
◆議会議案													
	議会提出に係る資料の不適切な取扱いに関する問責決議	否決	※	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○
	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
◆議会選挙													
議長の選挙	三浦教次氏 当選	得票数	三浦教次氏 22票			内藤智司氏 7票			北村拓哉氏 5票			阪本美知子氏 1票	
副議長の選挙	八尾俊宏氏 当選	得票数	八尾俊宏氏 20票			階戸幸一氏 8票			山口裕司氏 5票			三橋和史氏 3票	
			無効 2票			鍵田美智子氏 1票							
◆動議													
	中高年のひきこもりに対する実効性のある支援と対策を求める意見書	可決	全会一致										

※：賛成1 反対9

（会派所属議員名）令和2年6月26日現在

会派名	議員数	所属議員名
自民党奈良市議会・結の会	11	土田 敏朗 道端 孝治 塚本 勝 山本 憲宥 太田 晃司 横井 雄一 八尾 俊宏 東久保耕也 三浦 教次 森田 一成 北 良晃
公明党奈良市議会議員団	7	森岡 弘之 宮池 明 早田 哲朗 藤田 幸代 田畑日佐恵 九里 雄二 伊藤 剛
革新政会	7	柿本 元気 樋口清二郎 山出 哲史 阪本美知子 階戸 幸一 内藤 智司 鍵田美智子
日本共産党奈良市議会議員団	5	山口 裕司 山本 直子 白川健太郎 北村 拓哉 井上 昌弘